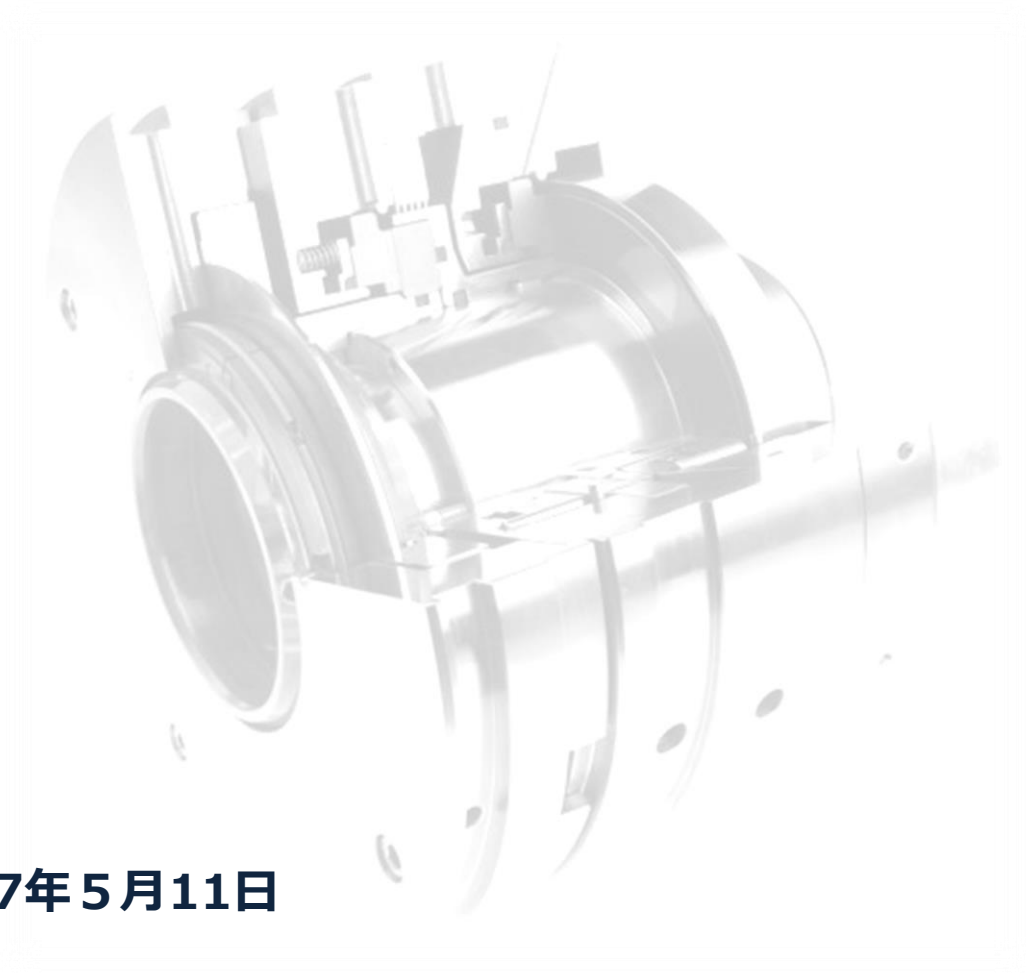


イーグル工業株式会社 2017年3月期 | 決算説明会

2017年5月11日



1. 業績報告

(1) 決算の概要と前3力年計画の結果

(2) 18年3月期の業績予想と新3力年計画の概要

2. 各事業別の取組み

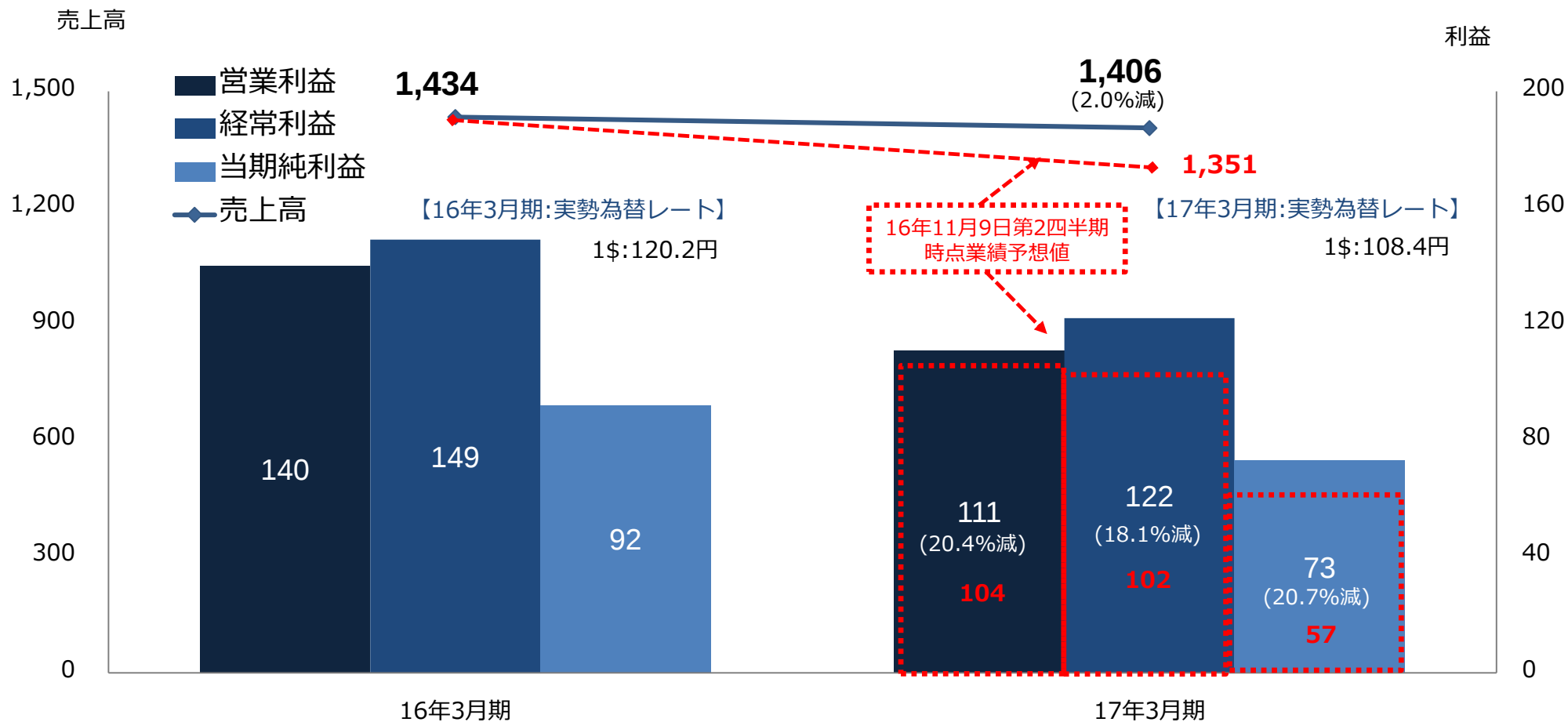
(1) 自動車・建設機械業界向け事業

(2) 一般産業機械業界向け事業

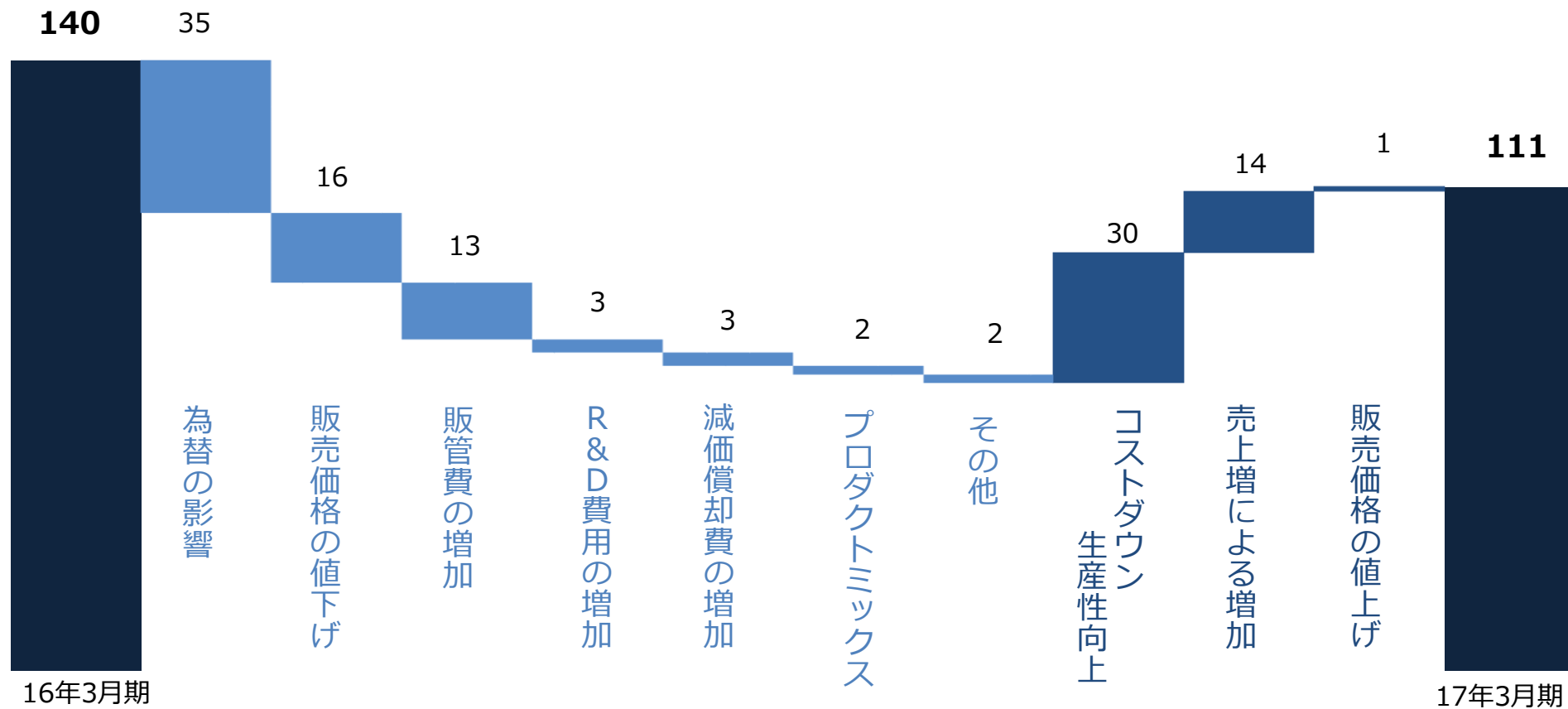
(3) 船用業界向け事業

(4) 航空宇宙業界向け事業

単位：億円



単位：億円



単位：億円

		16年3月期 実績	17年3月期 実績	増減	前期 対比	うち 為替影響	実質 前期対比
自動車・建設機械	売上高	877	904	28	103%	▲56	110%
	営業利益	78	74	▲4	95%	▲27	130%
一般産業機械	売上高	327	317	▲9	97%	▲17	103%
	営業利益	33	33	0	100%	▲3	110%
船用	売上高	139	106	▲33	76%	▲7	82%
	営業利益	27	3	▲23	13%	▲5	30%
航空宇宙・光工学	売上高	92	78	▲13	86%	▲0	86%
	営業利益	2	1	▲1	38%	—	37%
合 計	売上高	1,434	1,406	▲28	98%	▲81	104%
	営業利益	140	111	▲29	80%	▲35	104%

1. 業績報告

(1) 決算の概要と前3力年計画の結果

(2) 18年3月期の業績予想と新3力年計画の概要

2. 各事業別の取組み

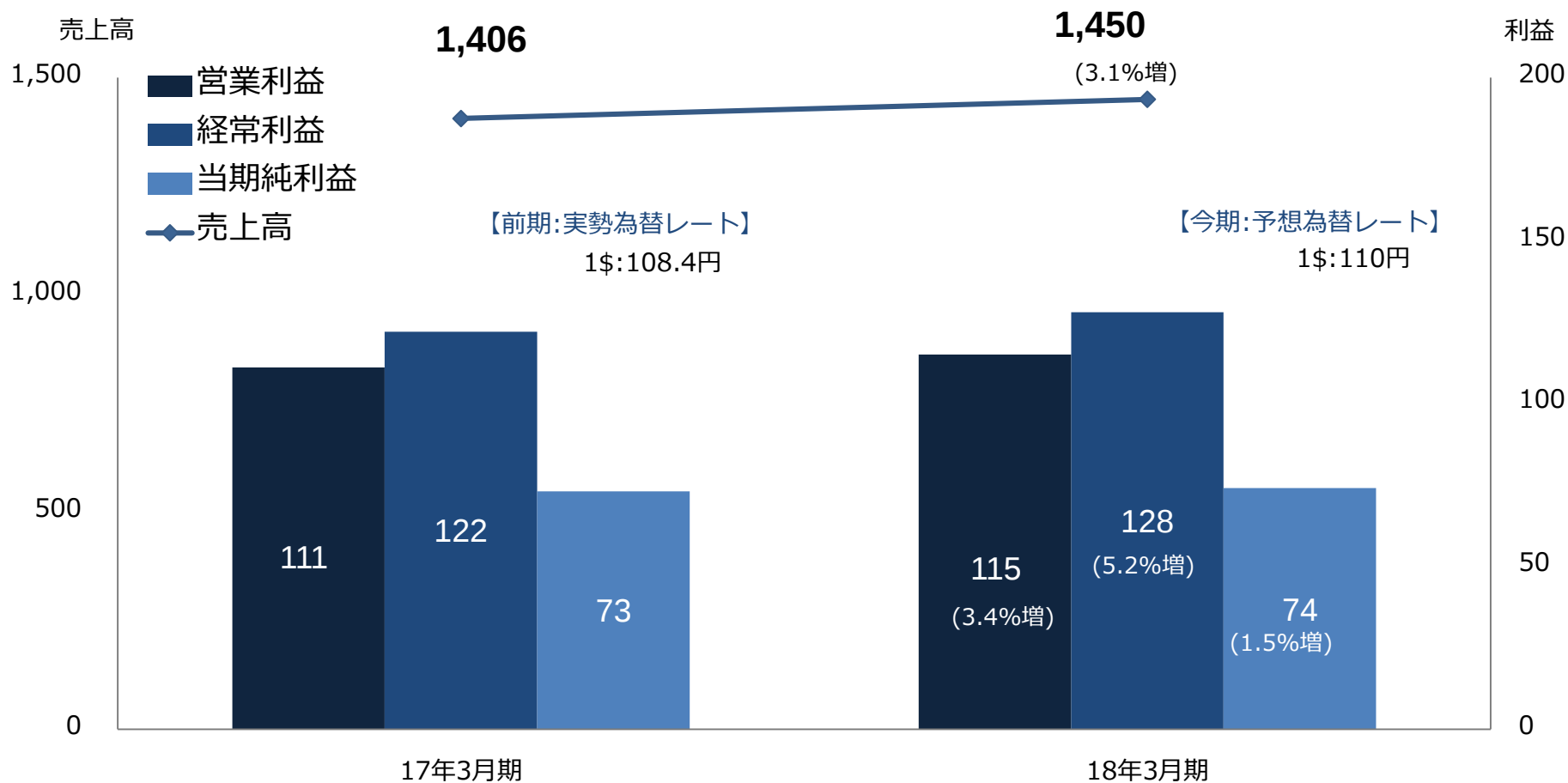
(1) 自動車・建設機械業界向け事業

(2) 一般産業機械業界向け事業

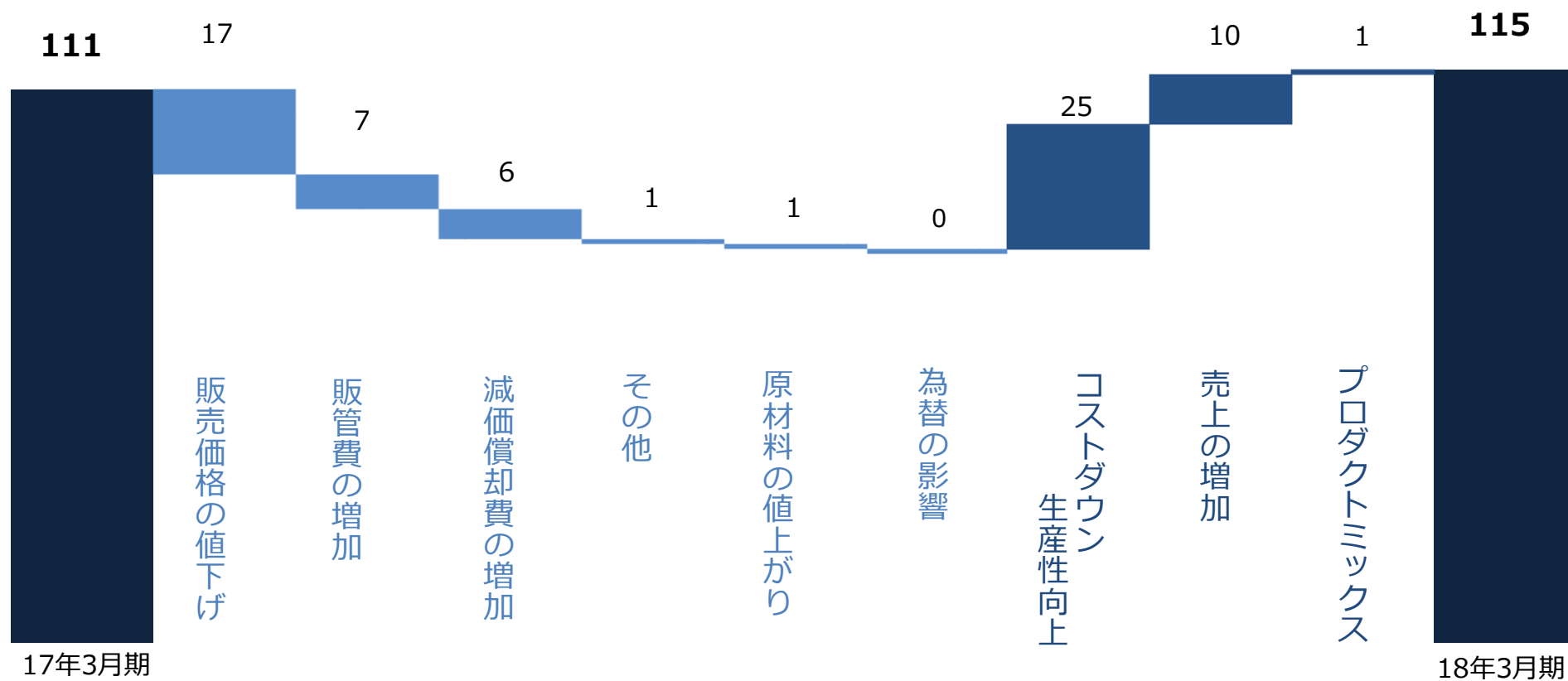
(3) 船用業界向け事業

(4) 航空宇宙業界向け事業

単位：億円



単位：億円



単位：億円

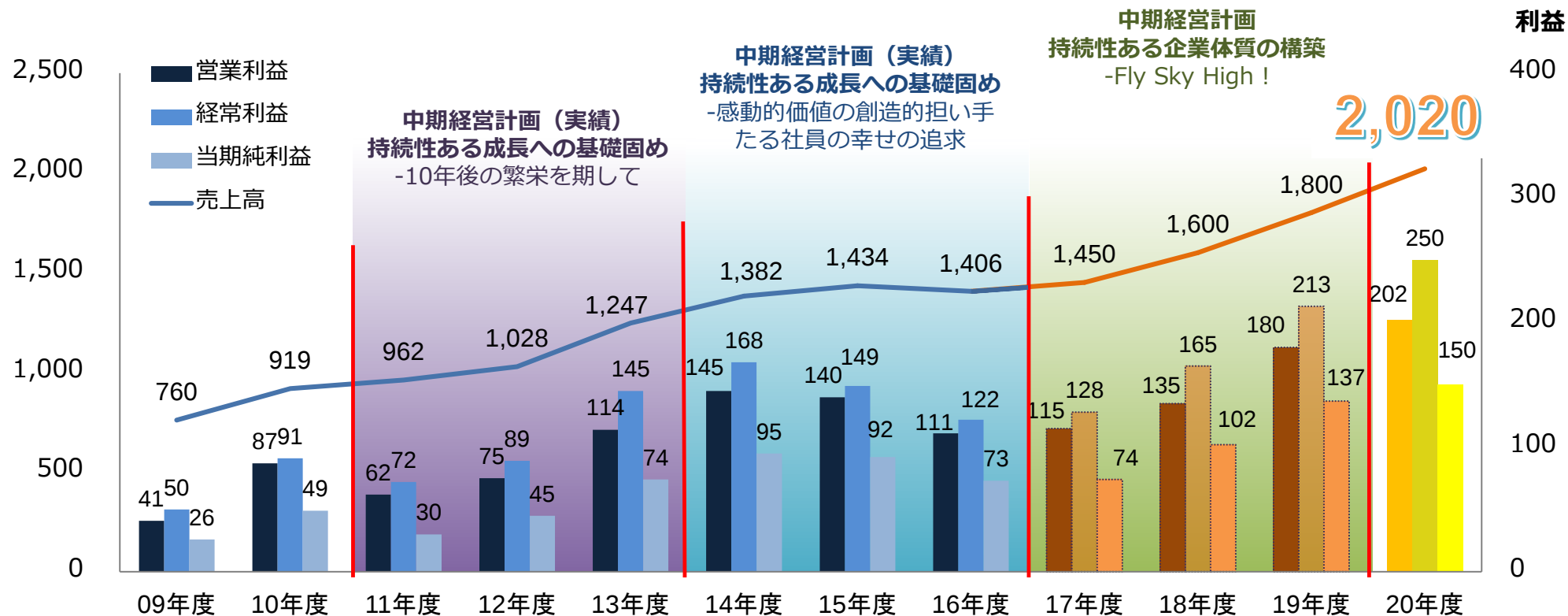
		17年3月期 実績	18年3月期 業績予想	増減	前期対比
自動車・建設機械	売上高	904	946	42	105%
	営業利益	74	75	0	100%
一般産業機械	売上高	317	343	26	108%
	営業利益	33	33	0	101%
船用	売上高	106	107	1	101%
	営業利益	3	5	1	141%
航空宇宙	売上高	78	54	▲24	69%
	営業利益	1	3	2	352%
合 計	売上高	1,406	1,450	44	103%
	営業利益	111	115	4	103%

Fly Sky High !

- 1. 永遠のゼロ** 「顧客から信頼される製品品質の確保」, 「世界同一品質の確保」の実現
- 2. 次世代商品開発** 「次世代モビリティ・エネルギー」市場向けに固有技術を活かした製品開発
- 3. 徹底したTCD・ムダ半** 「Total Cost Down」 「ムダの排除～すべてを半分に～」 による利益創出
- 4. BCM** 「Business Continuity Management」の構築
- 5. EagleBurgmann三極全体最適経営** 日本・インド・アジアパシフィック地域の全体最適に向けた経営推進
- 6. ERP導入・活用** グローバル経営情報伝達・収集の基幹システムとしてのSAP導入完了
- 7. 人間尊重経営/健康・安全** 真に働き甲斐のある職場の実現、社員の健康・安全の推進

単位：億円

売上高



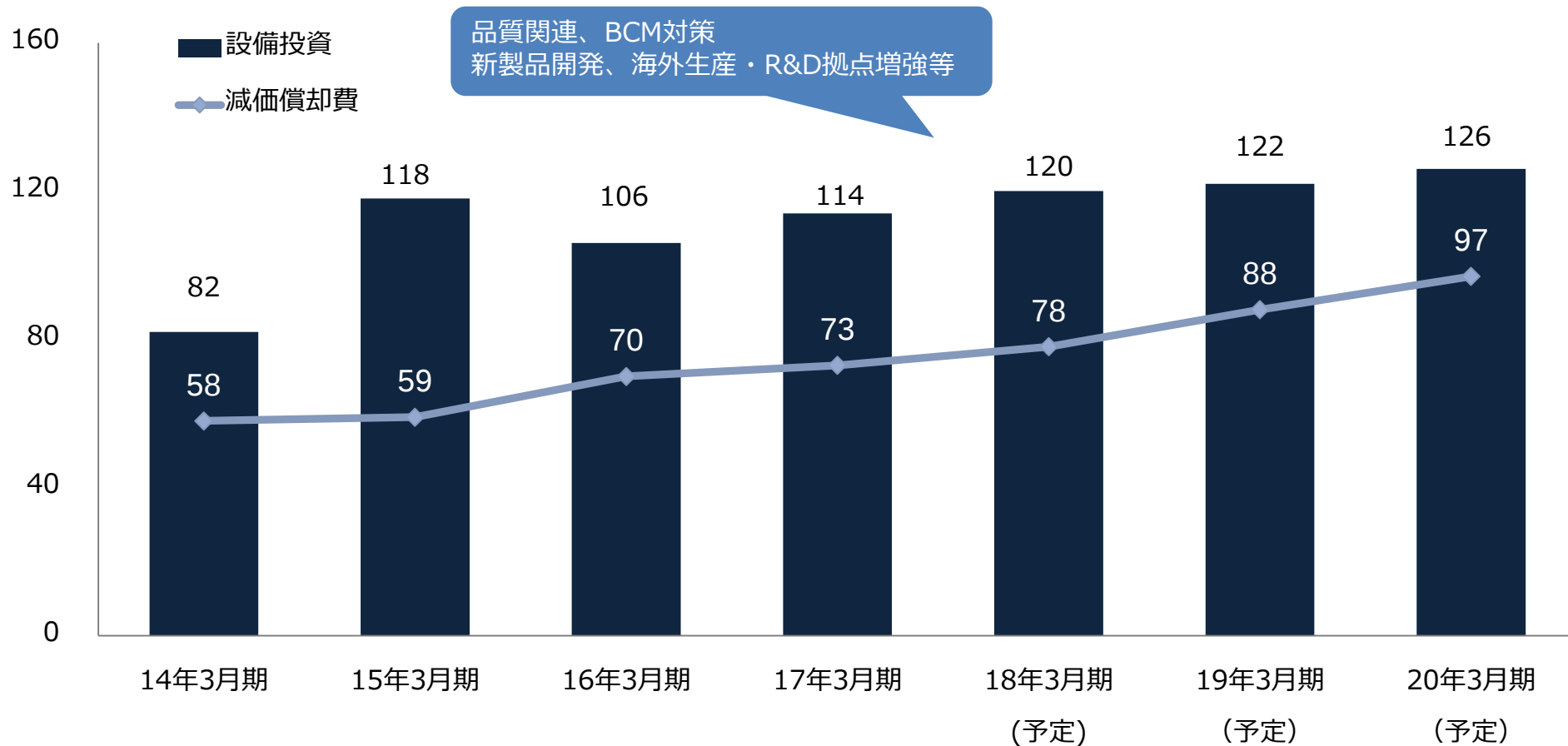
2020年度売上高2,020億円、営業利益202億円を目標

単位：億円

		17年3月期 実績	18年3月期	19年3月期	20年3月期	伸率 (17年3月期対比)
自動車・建設機械	売上高	904	946	1,051	1,160	128%
	営業利益	74	75	82	100	135%
一般産業機械	売上高	317	343	377	420	132%
	営業利益	33	33	41	56	168%
船用	売上高	106	107	113	140	132%
	営業利益	3	5	8	18	539%
航空宇宙	売上高	78	54	59	80	102%
	営業利益	1	3	4	7	915%
合 計	売上高	1,406	1,450	1,600	1,800	128%
	営業利益	111	115	135	180	162%

	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期 予想	19年3月期 予想	20年3月期 予想
配当金 (円)	25	40	45	45	45	未定	未定
配当性向 (%)	16.2	20.3	23.7	30.1	29.7	—	—
ROE (%)	14.7	15.6	14.0	10.0	10.5	13.2	15.7
ROA (%)	5.6	6.4	5.9	4.6	4.4	5.7	7.2
自己資本比率 (%)	39.0	42.2	42.3	42.2	42.7	44.5	47.2
ROIC (%)	7.1	8.0	7.7	6.0	6.3	6.8	8.3

単位：億円



技術に裏打ちされた独自性ある、かつ社会にとって有用な商品を世界中で安く作り適正価格で売る

次世代モビリティ市場



**EKKコア技術
トライボロジー
低摩擦技術の深耕
各分野へ展開**



- ・高精度流体制御技術
- ・表面テクスチャリング技術
- ・ベローズ技術

次世代エネルギー市場



1. 業績報告

- (1) 決算の概要と前3カ年計画の結果
- (2) 18年3月期の業績予想と新3カ年計画の概要

2. 各事業別の取組み

- (1) 自動車・建設機械業界向け事業
- (2) 一般産業機械業界向け事業
- (3) 船用業界向け事業
- (4) 航空宇宙業界向け事業

☆：生産予定

	ウォーター ポンプシール 	カーエアコン シール 	カーエアコン コントロール バルブ 	ソレノイド バルブ 	バルブ・ アクチュエータ 	フローティング シール 
日本	○	○	○	○		○
中国	○	○	○	○	○	○
韓国	○	○				
台湾	○			○	○	
インド	○					
タイ	○	○		○	○	
インドネシア	○	☆			○	○
フランス			○			
オランダ	○	○				
ハンガリー					○	
メキシコ	☆	☆	○	○		

オランダ Eagle Simrax



ハンガリー Eagle Industry Hungary



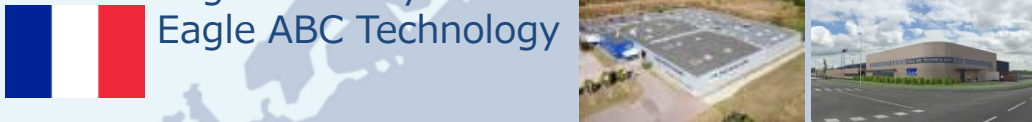
中国 Eagle Industry Wuxi



韓国 NEK Korea



フランス Eagle Industry France
Eagle ABC Technology



仏 Eagle ABC第2工場建設中

日本 Eagle Industry



米国



生産拠点
構想開始

ドイツ Eagle Actuator Components



インド EKK Eagle Products India



台湾 Eagle Industry Taiwan



メキシコ Eagle Industry Mexico



タイ Eagle Industry Thailand



インドネシア P.T. Eagle Indonesia



欧州

Netherland Kerkrade
Engineering officeGermany Heppenheim
Engineering office

ドイツ・ヘッペンハイムに
今期にR&D拠点を設立

日本

Saitama R&D Center

Okayama
Engineering Office

中国

Wuxi Engineering
office

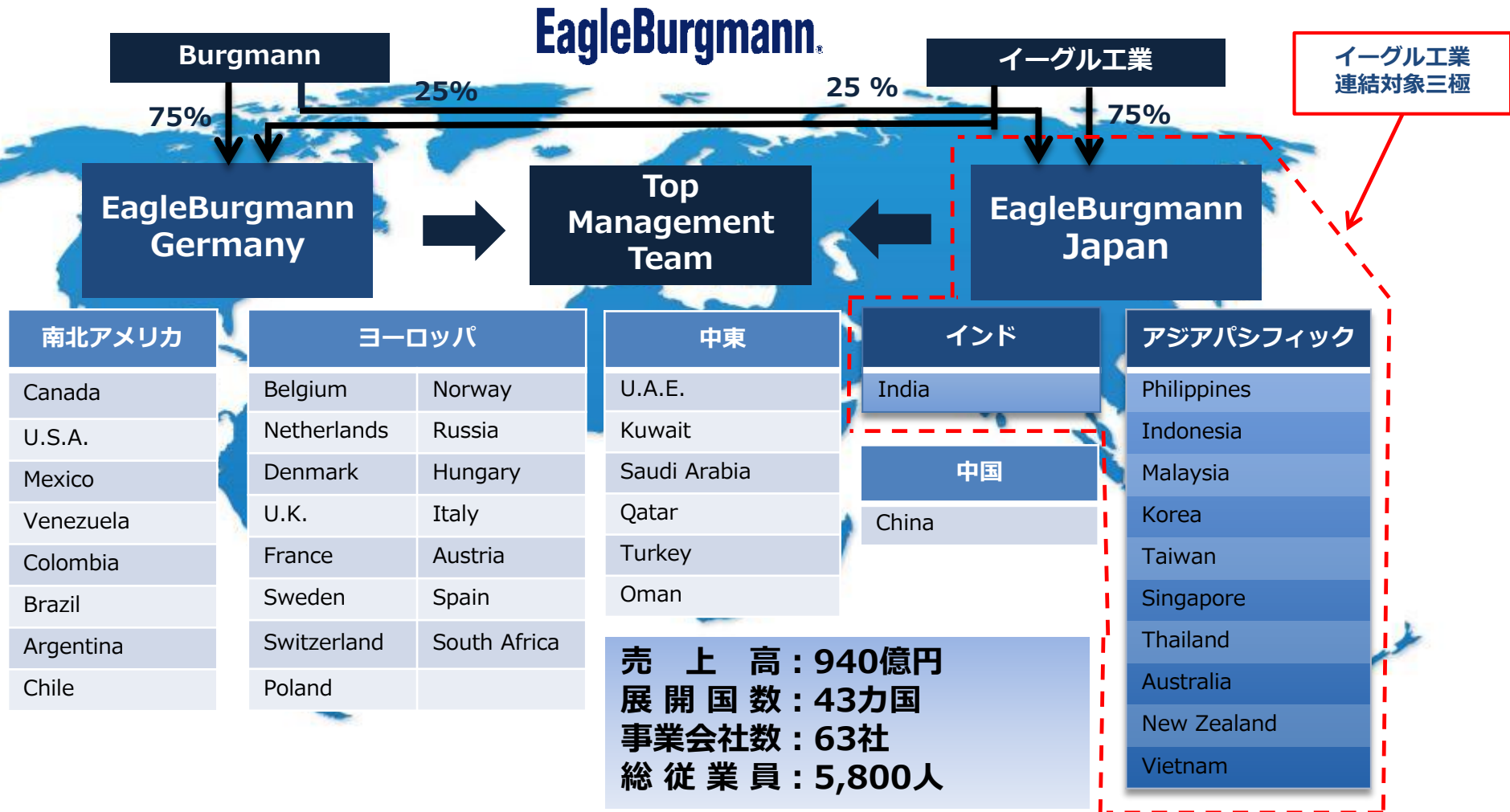
既存拠点に加え新3カ年計画中に欧州・中国のR&D拠点を強化

1. 業績報告

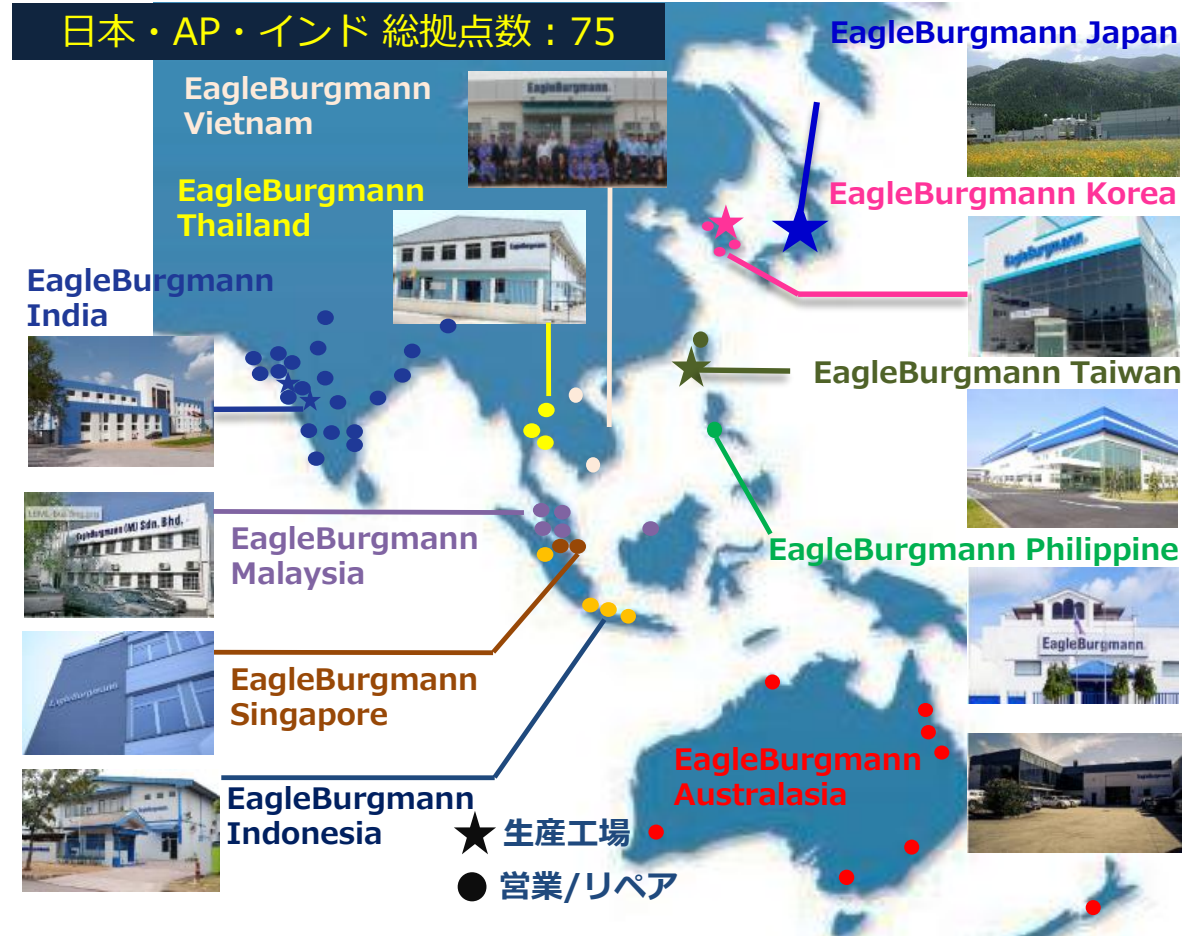
- (1) 決算の概要と前3カ年計画の結果
- (2) 18年3月期の業績予想と新3カ年計画の概要

2. 各事業別の取組み

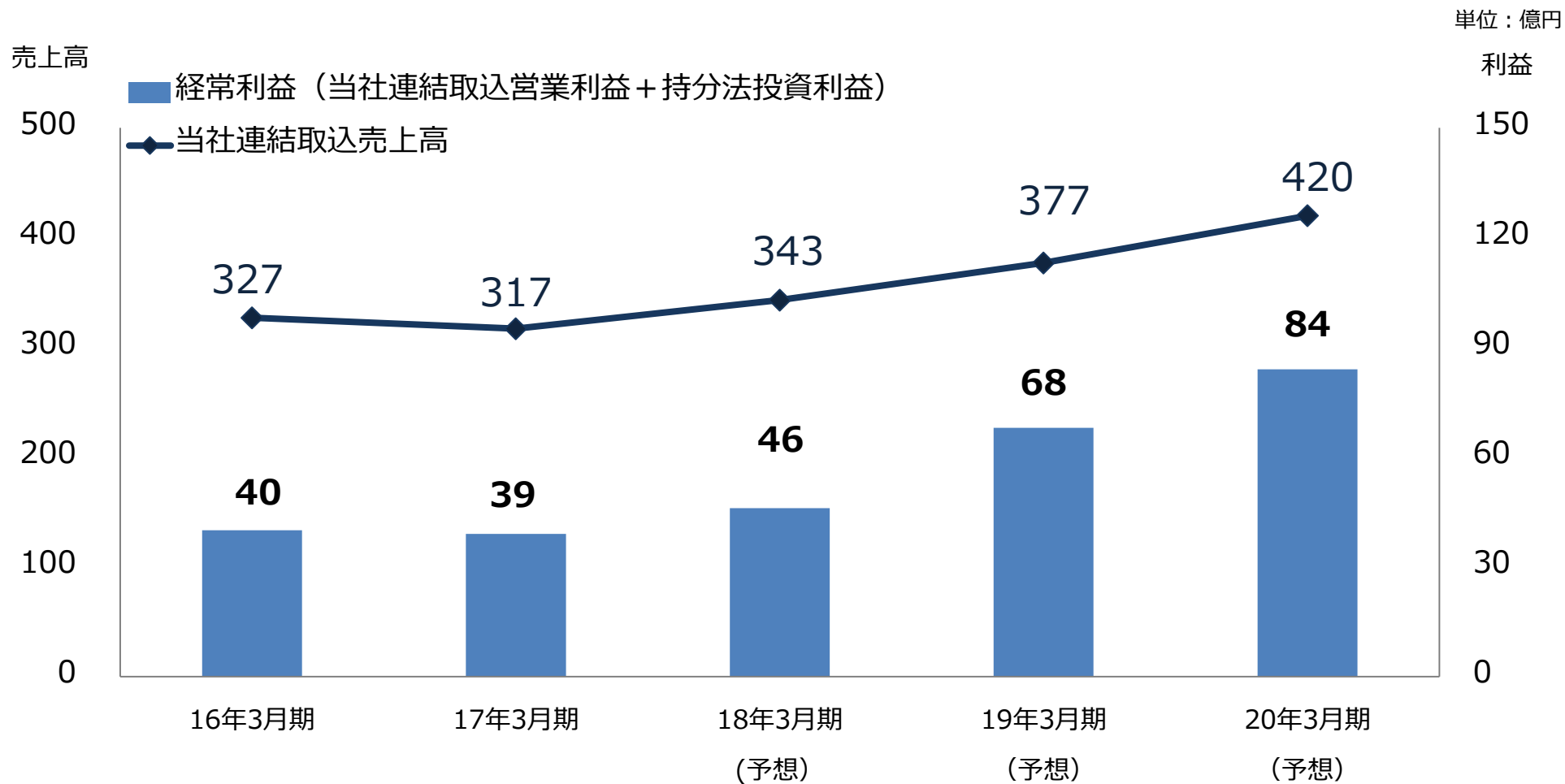
- (1) 自動車・建設機械業界向け事業
- (2) 一般産業機械業界向け事業
- (3) 船用業界向け事業
- (4) 航空宇宙業界向け事業



国名	会社名	機能（拠点数）
日本	EB Japan	生産工場：3 営業/リペア：18
韓国	EB Korea	生産工場：1 営業/リペア：3
台湾	EB Taiwan	生産工場：1 営業/リペア：1
シンガポール	EB Singapore	営業/リペア：2
インド	EB India	生産工場：2 営業/リペア：20
	EB Mascot India	生産工場：1
タイ	EB Thailand	営業/リペア：3
インドネシア	EB Indonesia	営業/リペア：4
ベトナム	EB Vietnam	営業/リペア：2
マレーシア	EB Malaysia	営業/リペア：5
フィリピン	EB Philippines	営業/リペア：1
オーストラリア	EB Australasia	営業/リペア：7
ニュージーランド		営業/リペア：1



三極内の各拠点を活用しインド・アジア・パシフィック地域のビジネス強化

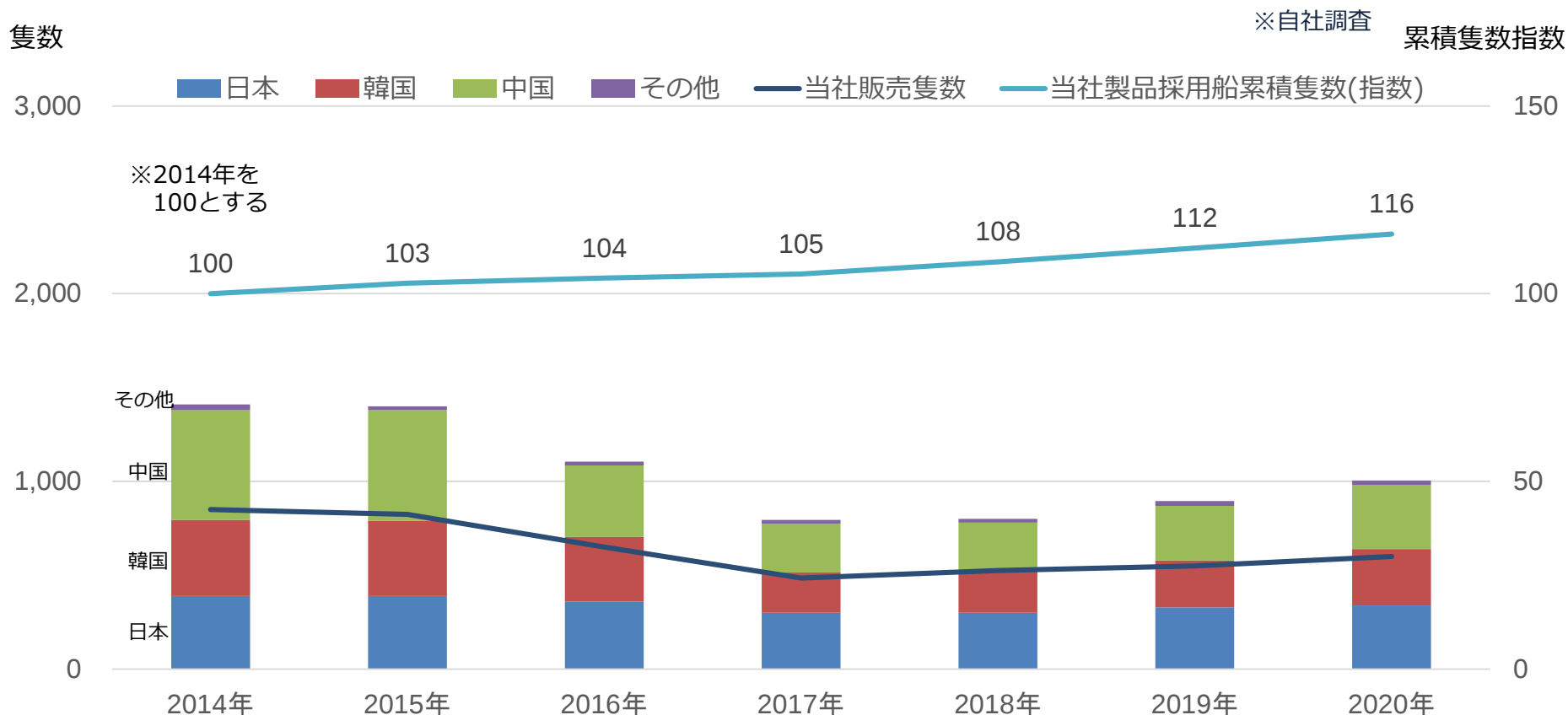


1. 業績報告

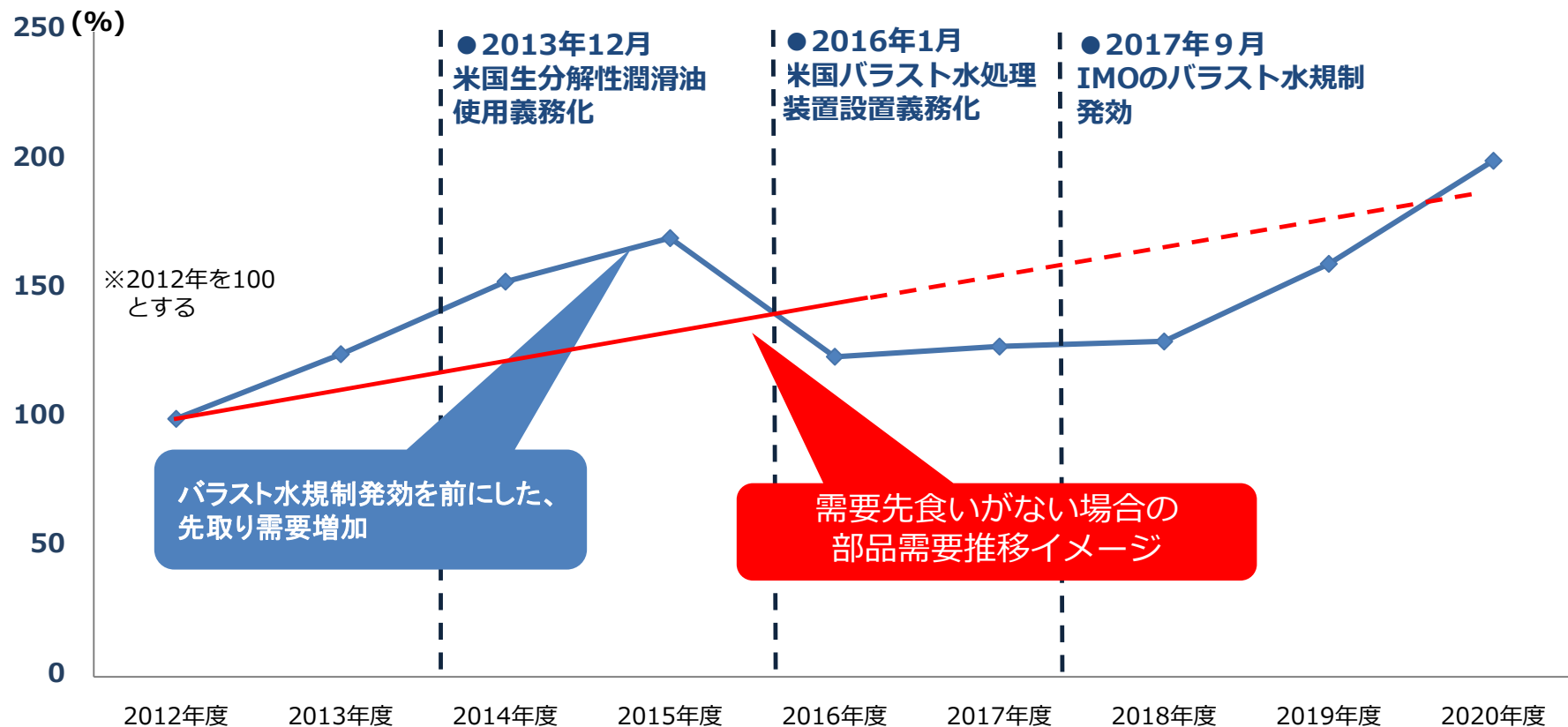
- (1) 決算の概要と前3カ年計画の結果
- (2) 18年3月期の業績予想と新3カ年計画の概要

2. 各事業別の取組み

- (1) 自動車・建設機械業界向け事業
- (2) 一般産業機械業界向け事業
- (3) 船用業界向け事業
- (4) 航空宇宙業界向け事業



造船・海運不況の影響により新造船建造隻数は今期以降も低迷



15年度までは環境規制発効前の当社部品需要の先取り分が販売に貢献
16～18年度にかけて需要調整となる見通し

1. 業績報告

- (1) 決算の概要と前3カ年計画の結果
- (2) 18年3月期の業績予想と新3カ年計画の概要

2. 各事業別の取組み

- (1) 自動車・建設機械業界向け事業
- (2) 一般産業機械業界向け事業
- (3) 船用業界向け事業
- (4) 航空宇宙業界向け事業



写真はH-IIAロケット33号機打ち上げ

3月17日：
H-IIAロケット
33号機打上成功

左の写真はロケット打ち上げのイメージ画像です

6月1日：
H-IIAロケット
34号機打上予定



©JAXA

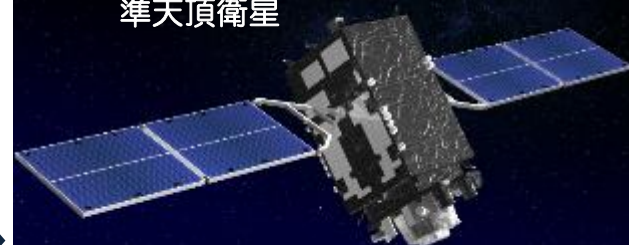


H-3ロケット
LE-9エンジン
開発に参加

- ・ターボポンプ
単体試験成功
- ・実機型エンジン
燃焼試験予定
- ・シール類を供試

メカニカルシール、各種シール、バルブ類 納入

「みちびき2号機」
準天頂衛星



出典：準天頂衛星システムウェブサイト
<http://qzss.go.jp/overview/index.html>



原子時計、タンク、バルブ類、フィルター
レギュレーター、圧力センサ、

Fly Sky High !

